

穴栗市新病院の整備に関する 市民アンケート集計結果

令和元年 1 1 月

2020.1.10版

穴 栗 市

目 次

I 調査概要

- 1 アンケートの目的
- 2 調査対象者
- 3 配付・回収の方法
- 4 調査期間
- 5 回収結果

II 調査結果

調査結果の見方

- 調査結果の構成比「%」は、小数点以下第2位を四捨五入したものです。
そのため、合計値が100%にならない場合があります。
- 図表中の「N」は有効標本数（集計対象者総数）あるいは分類別の該当対象者数を示しています。
- 本文中の設問の選択肢について、文字数が多いものは簡略化している場合があります。

I 調査概要

1 アンケートの目的

「穴粟市新病院整備に係る基本構想」を策定するにあたり、市内に居住する住民を対象として、診療を受ける際の医療機関の選択状況などの利用実態、新病院に期待する事項の意識調査を実施することにより、基本構想の内容や方向性を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査対象者

18 歳以上の市民 2, 300 人を住民基本台帳から無作為抽出（地区別比例配分）

3 配付・回収の方法

郵送配付—郵送回収法

4 調査期間

発送日：令和元年9月17日（火）

返送期日：令和元年9月30日（月）

5 回収結果

回収数：1, 252人／2, 300人

回収率：54.4%

Ⅱ 調査結果

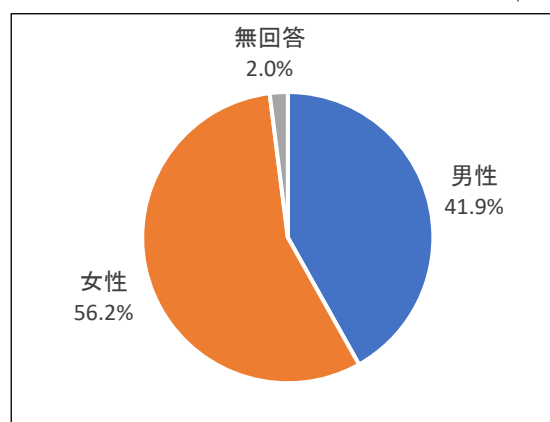
問1 回答者について

(1) 性別

選択肢	回答(人)	構成比
男性	524	41.9%
女性	703	56.2%
無回答	25	2.0%

性別については、「男性」が約42%、「女性」が約56%と女性の割合がやや高くなっています。

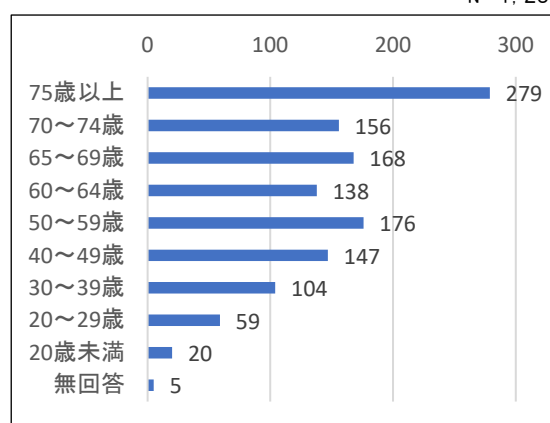
N=1, 252



(2) 年齢

選択肢	回答(人)	構成比
75歳以上	279	22.3%
70～74歳	156	12.5%
65～69歳	168	13.4%
60～64歳	138	11.0%
50～59歳	176	14.1%
40～49歳	147	11.7%
30～39歳	104	8.3%
20～29歳	59	4.7%
20歳未満	20	1.6%
無回答	5	0.4%

N=1, 252

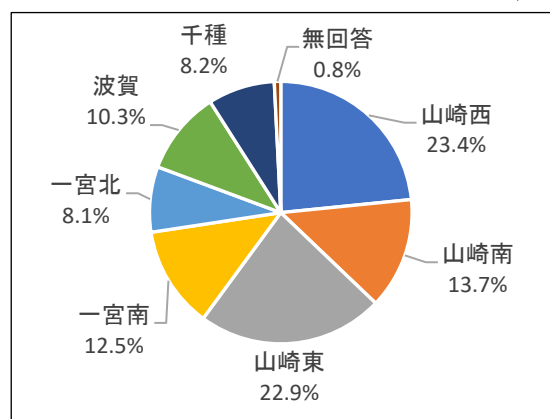


年齢区分については、割合が最も高いのは「75歳以上」で、60歳以上が、全体の約60%を占めています。

(3) お住まいの地域

選択肢	回答(人)	構成比
山崎西	293	23.4%
山崎南	172	13.7%
山崎東	287	22.9%
一宮南	157	12.5%
一宮北	101	8.1%
波賀	129	10.3%
千種	103	8.2%
無回答	10	0.8%

N=1, 252



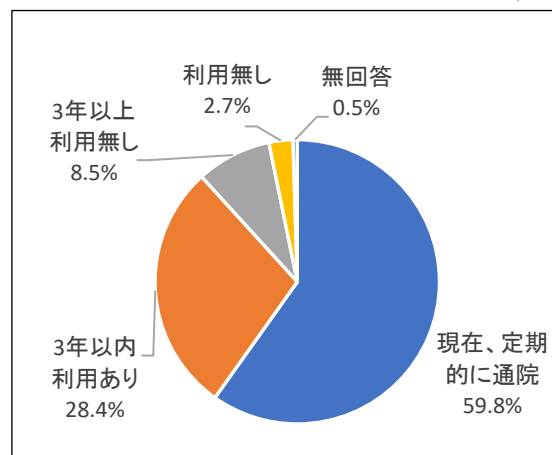
問2 通院されている医療機関について

(1) 医療機関へ通院される頻度

選択肢	回答(人)	構成比
現在、定期的に通院	749	59.8%
3年以内利用あり	356	28.4%
3年以上利用無し	107	8.5%
利用無し	34	2.7%
無回答	6	0.5%

通院の傾向としては、「現在、定期的に通院」の割合が最も高く約60%を占めており、「3年以内利用あり」を含めると全体の約90%を占めています。

N=1, 252

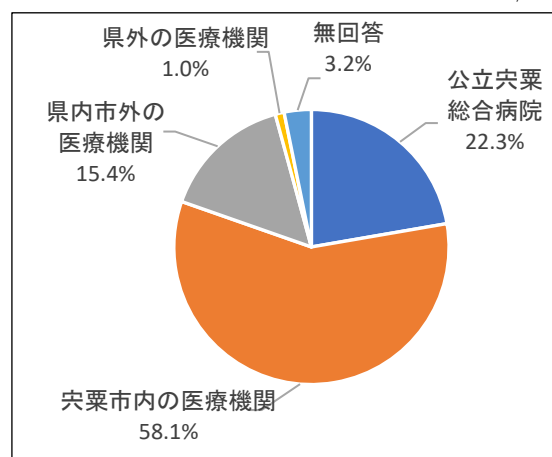


(2) 日頃、最も利用している医療機関(外来)

選択肢	回答(人)	構成比
公立中央総合病院	279	22.3%
中央市内の医療機関	727	58.1%
県内市外の医療機関	193	15.4%
県外の医療機関	13	1.0%
無回答	40	3.2%

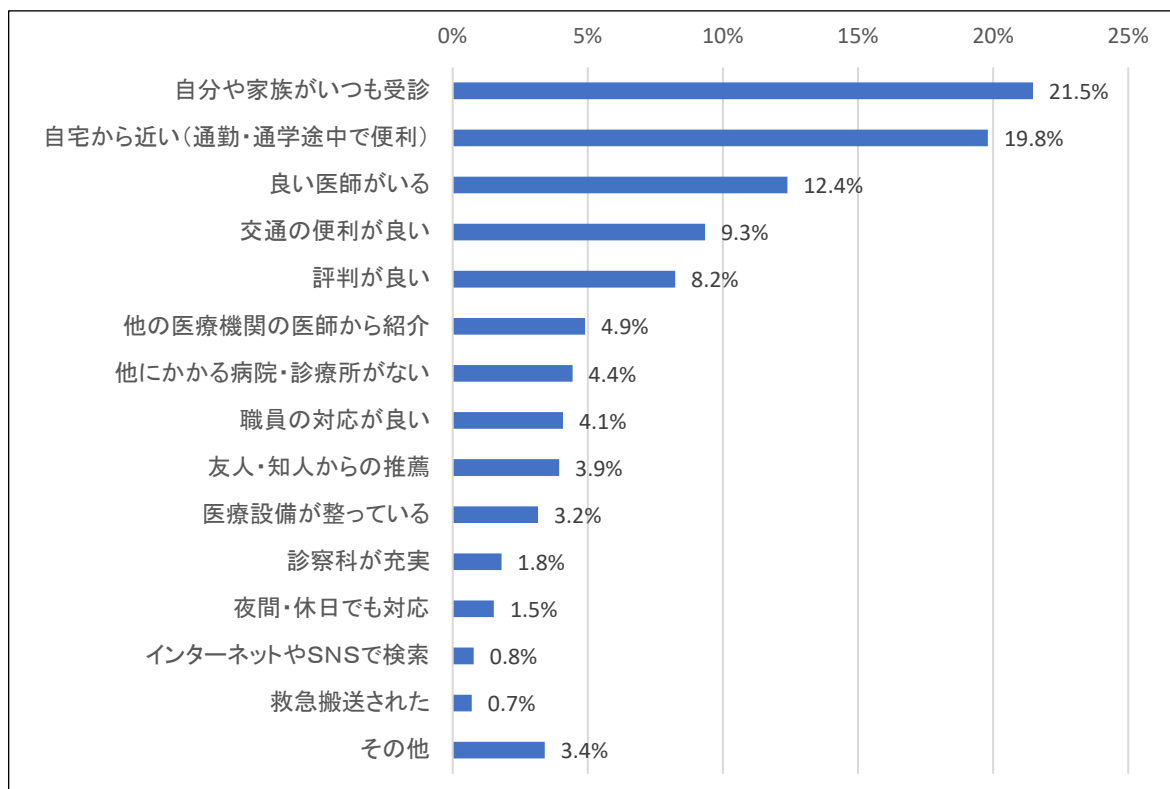
利用している医療機関(外来)の傾向としては、「中央市内の医療機関」の割合が最も高く約60%を占めており、「公立中央総合病院」を含めると全体の約80%が市内の医療機関・病院を利用しています。

N=1, 252



(3) 医療機関(外来)を選ぶ理由(3 つまで選択可)

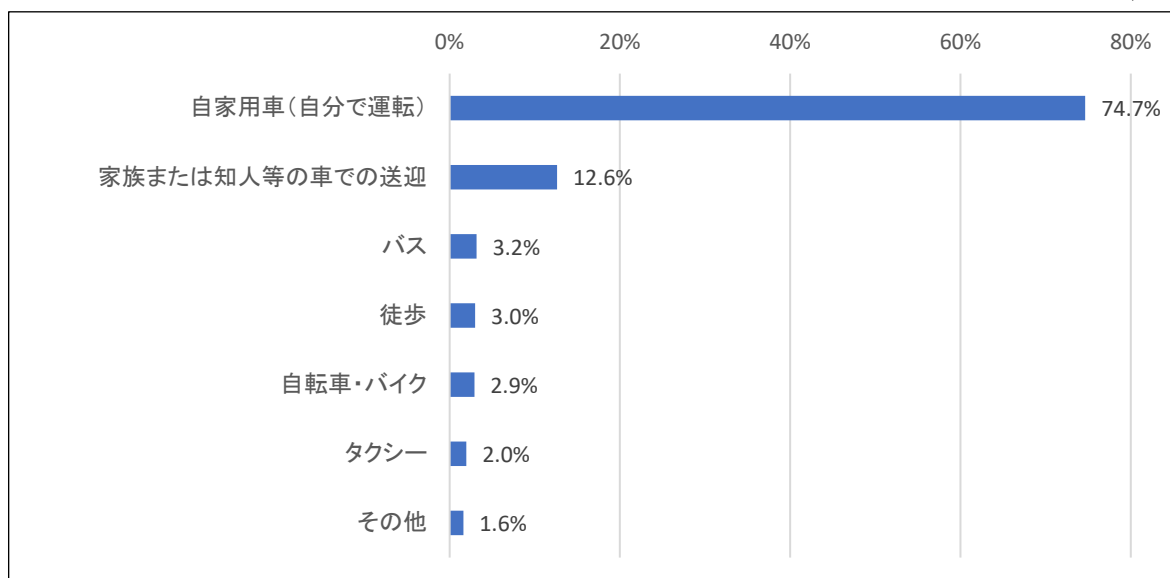
N=2, 816



医療機関(外来)を選択する理由としては、「自分や家族がいつも受診」、「自宅から近い」が多く、この二つを合わせると全体の約40%を占めています。また、「良い医師がいる」、「評判が良い」、「職員の対応が良い」を合わせると約25%を占めています。

(4) 医療機関(外来)への主な交通手段

N=1, 164



医療機関(外来)への主な交通手段は、「自家用車(自分で運転)」が圧倒的に多く、「家族または知人等の車での送迎」を合わせると約87%を占めており、自動車の利用率が特に高いことが確認できます。

問3 最近入院した医療機関について

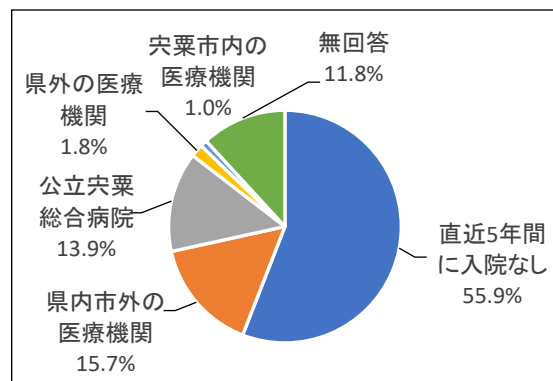
(1) 直近5年間の入院有無と医療機関

N=1, 252

選択肢	回答(人)	構成比
直近5年間に入院なし	700	55.9%
県内市外の医療機関	196	15.7%
公立宍粟総合病院	174	13.9%
県外の医療機関	22	1.8%
宍粟市内の医療機関	12	1.0%
無回答	148	11.8%

直近5年間の入院の傾向としては、いずれかの医療機関に入院したことがある方が 約32%となっており、入院したことがある方のうち、公立宍粟総合病院に入院した方の割合は約43%となっています。

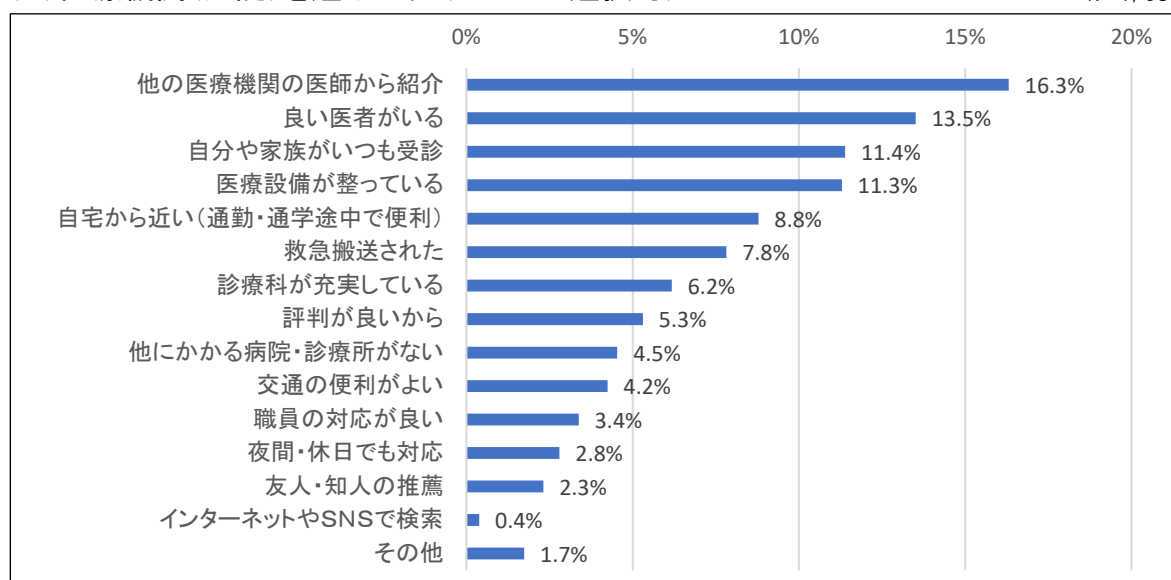
県内市外の主な入院先については、高度急性期を担う 姫路赤十字病院、ツカザキ病院への入院が多くなっています。



県内市外の主な医療機関	回答(人)
姫路赤十字病院	28
ツカザキ病院	18
田中病院	7
製鉄記念広畑病院	7
姫路医療センター	5
姫路循環器病センター	5
マリア病院	4
信原病院	3
佐用中央病院	2
加古川医療センター	2
木村病院	2

(2) 医療機関(入院)を選ぶ理由(3 つまで選択可)

N=1, 036



医療機関(入院)選択する理由としては、「他の医療機関の医師から紹介」が最も多く、「良い医師がいる」、「評判が良い」、「職員の対応が良い」を合わせると約22%、「自分や家族がいつも受診」、「自宅から近い」を合わせると約20%、「医療設備が整っている」、「診療科が充実している」を合わせると約17%を占めています。

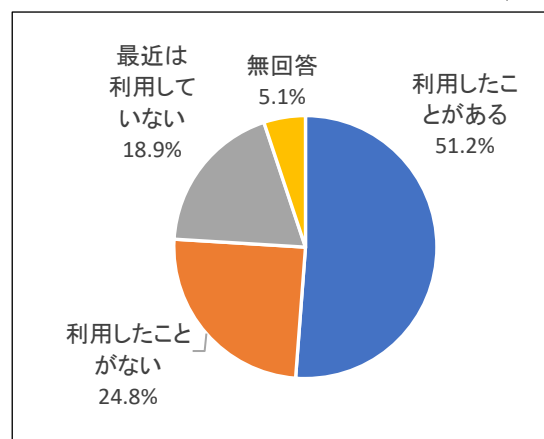
問4 公立宍粟総合病院の利用について

(1) 直近5年間の公立宍粟総合病院の利用

N=1, 252

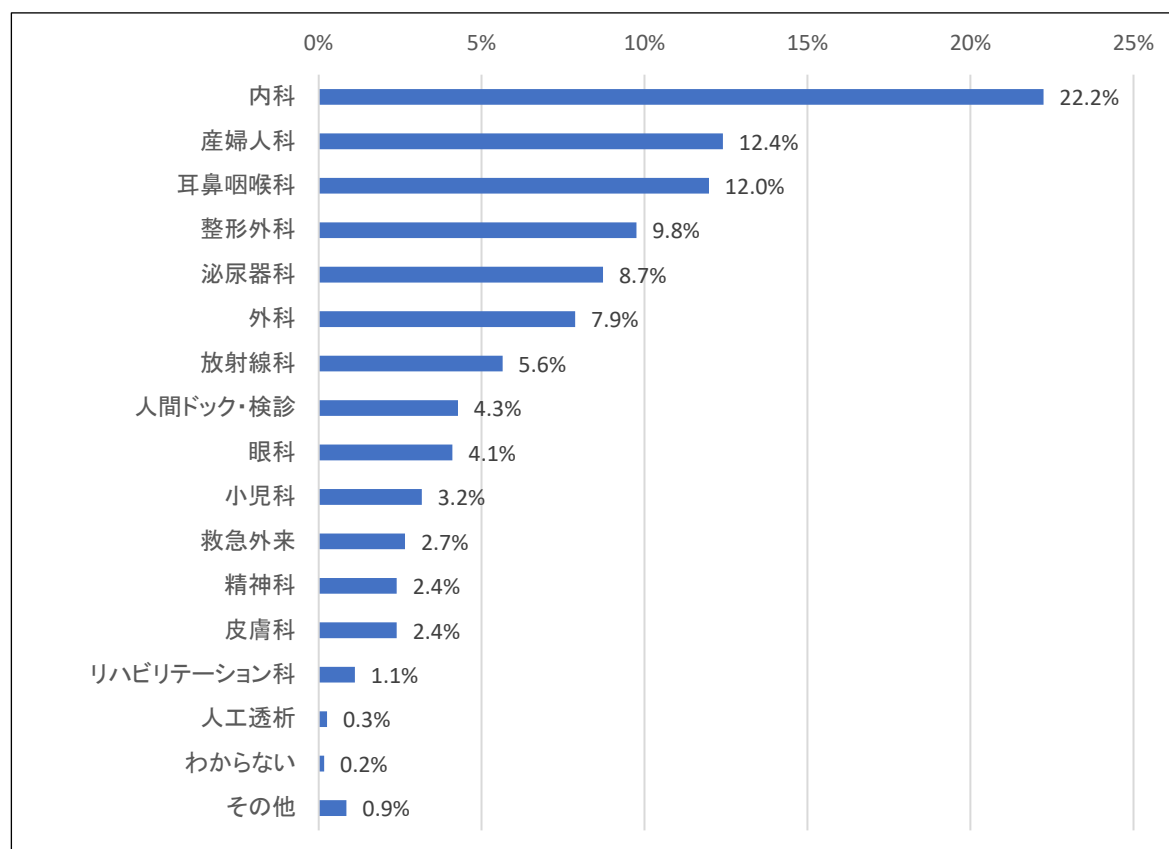
選択肢	回答(人)	構成比
利用したことがある	641	51.2%
利用したことがない	310	24.8%
最近是利用していない	237	18.9%
無回答	64	5.1%

公立宍粟総合病院の利用の傾向としては、直近5年間に利用したことがある方と、最近是利用していないが、過去に利用したことがある方を合わせると約70%の方が利用していたことが確認できます。



(2)ーア 直近5年間に公立宍粟総合病院の受診した診療科(3つまで選択可)

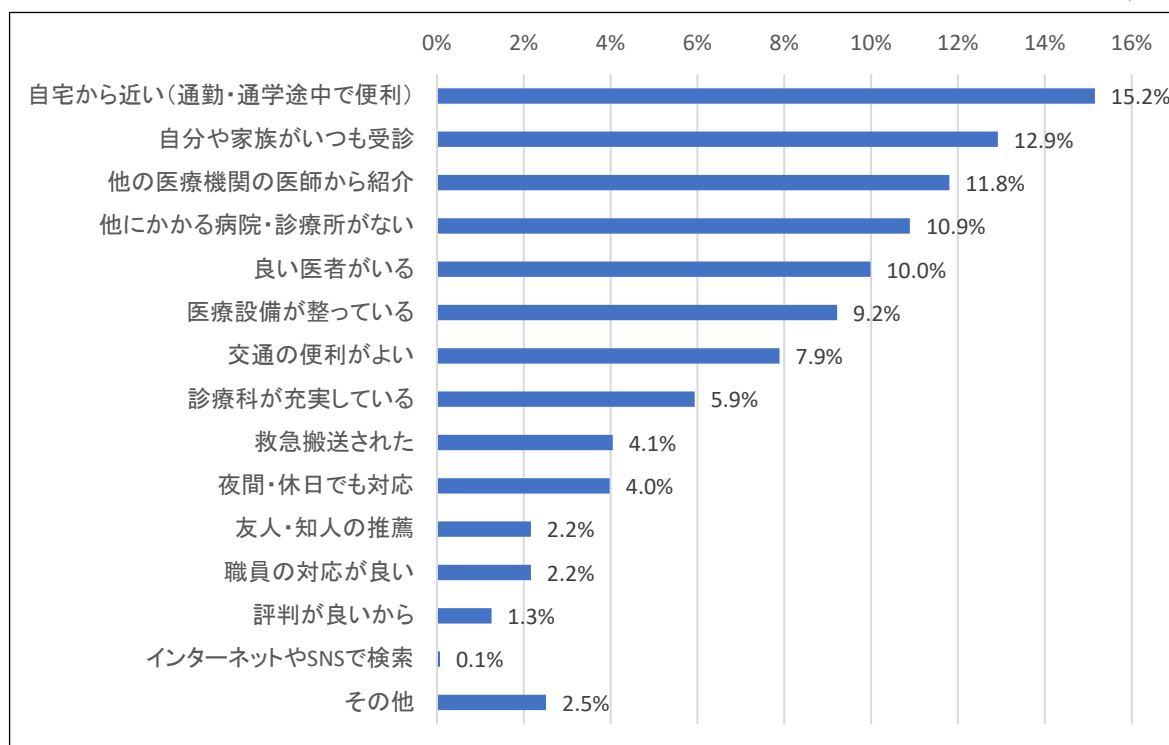
N=1, 169



公立宍粟総合病院の受診した診療科の傾向としては、内科が最も多く、次いで産婦人科、耳鼻咽喉科、整形外科の順となっています。

(2)ーイ 公立中央総合病院を選んだ理由(3つまで選択可)

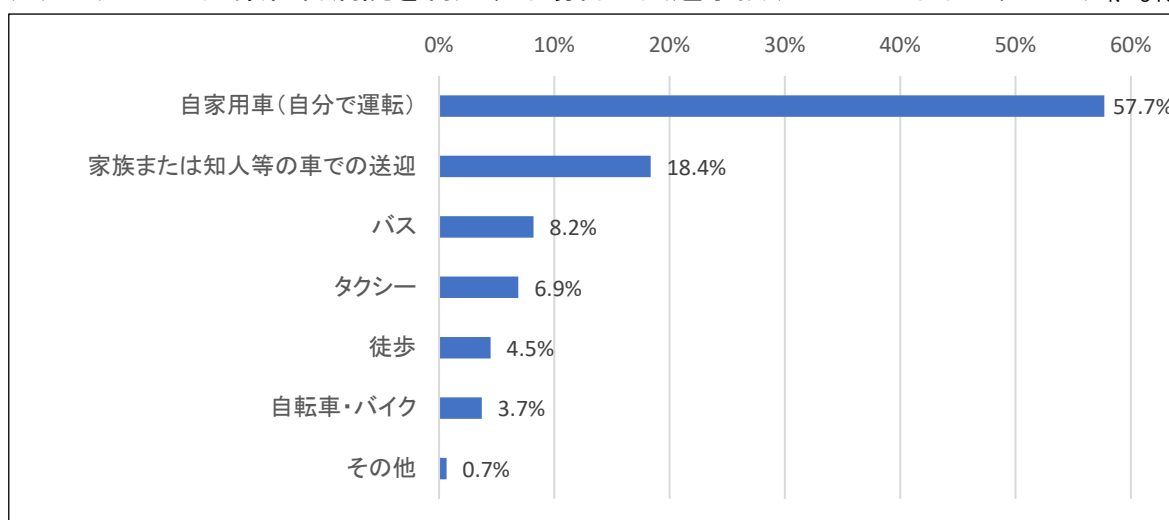
N=1,432



公立中央総合病院を選択する理由としては、「自宅から近い」、「自分や家族がいつも受診」の順になっており、この二つを合わせると全体の28%を占めています。次いで「他の医療機関の医師から紹介」、「他にかかる病院・診療所がない」の順になっており、「良い医師がある」、「職員の対応が良い」、「評判が良い」を合わせると約14%を占めています。

(2)ーウ 公立中央総合病院を利用する場合の交通手段(当てはまるものすべて)

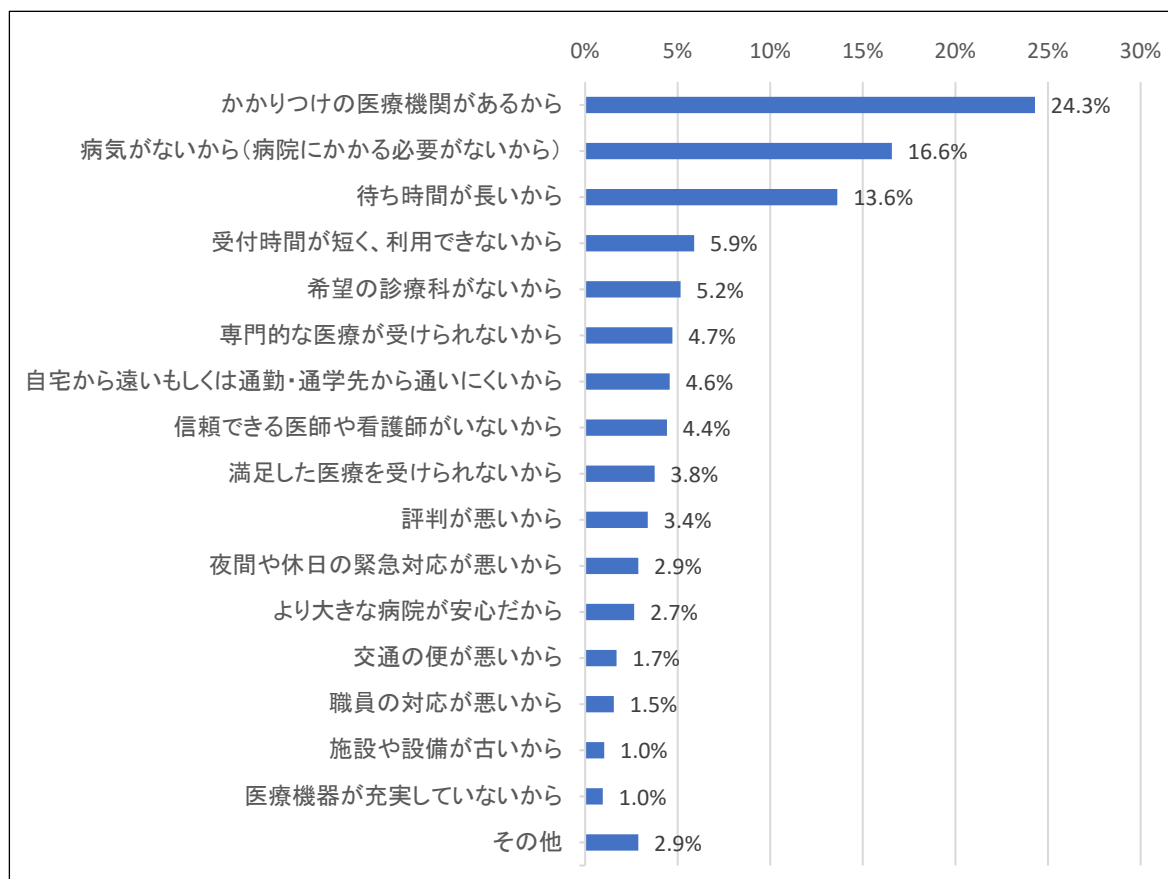
N=915



公立中央総合病院を利用する場合の交通手段は、「自家用車(自分で運転)」が圧倒的に多く、「家族または知人等の車での送迎」を合わせると約76%を占めており、自動車の利用率が特に高いことが確認できます。また、「バス」、「タクシー」を合わせると15%を占めています。

(3) 公立宍粟総合病院を利用しない理由(3つまで選択可)

N=1,358

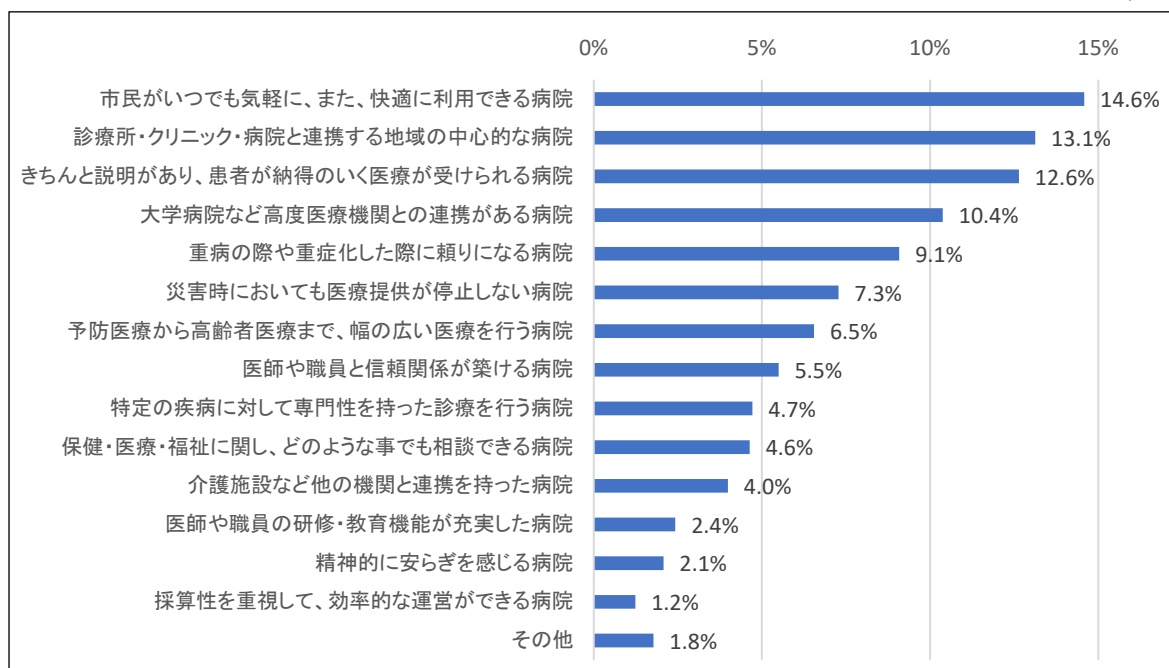


公立宍粟総合病院を利用しない理由としては、「かかりつけの医療機関がある」が最も多く、次いで、「病気がなく病院にかかる必要がない」の順となっています。「待ち時間が長い」は約14%、「希望の診療科がない」、「専門的な医療が受けられない」、「満足した医療を受けられない」、「より大きな病院が安心」を合わせると16%となっています。

問5 新病院建設について

(1) 新病院はどのような病院であってほしいか(3つまで選択可)

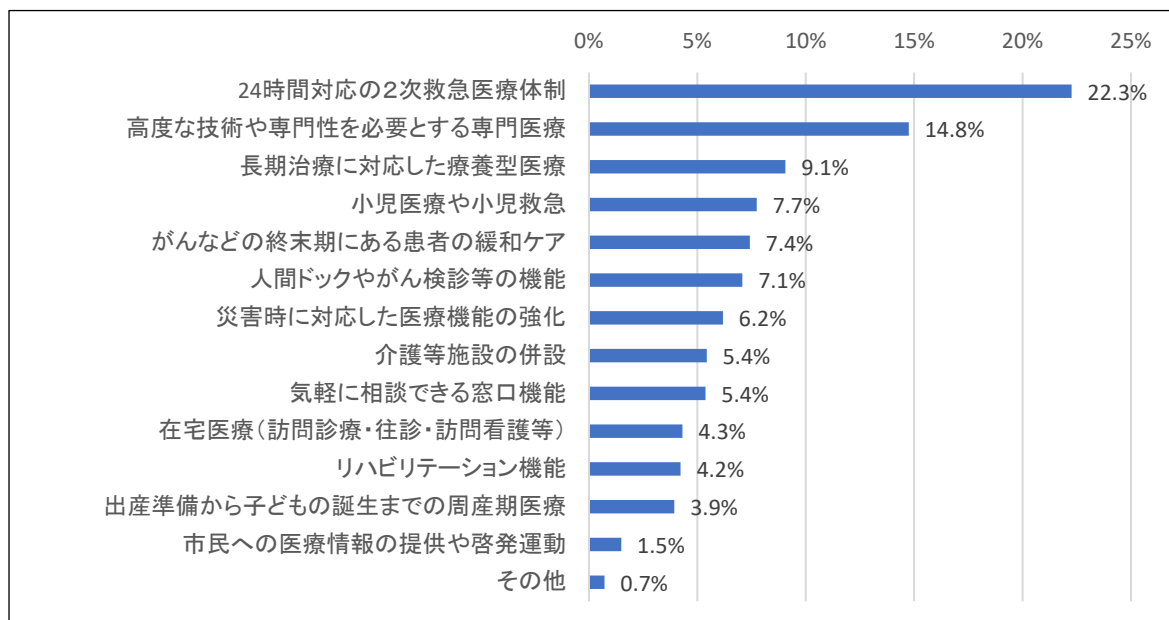
N=3,709



新病院に求めることとしては、「診療所等と連携する病院」、「高度医療機関と連携する病院」を合わせると約24%となっており、症状に応じた役割分担への意識がみられます。また「気軽に快適に利用できる病院」、「精神的にやすらぎを感じる病院」を合わせると約17%となっています。一方で、「採算性を重視して、効率的な運営ができる病院」は1.2%と低い回答率となっています。

(2) 新病院ではどのような医療サービスを充実すべきか(3つまで選択可)

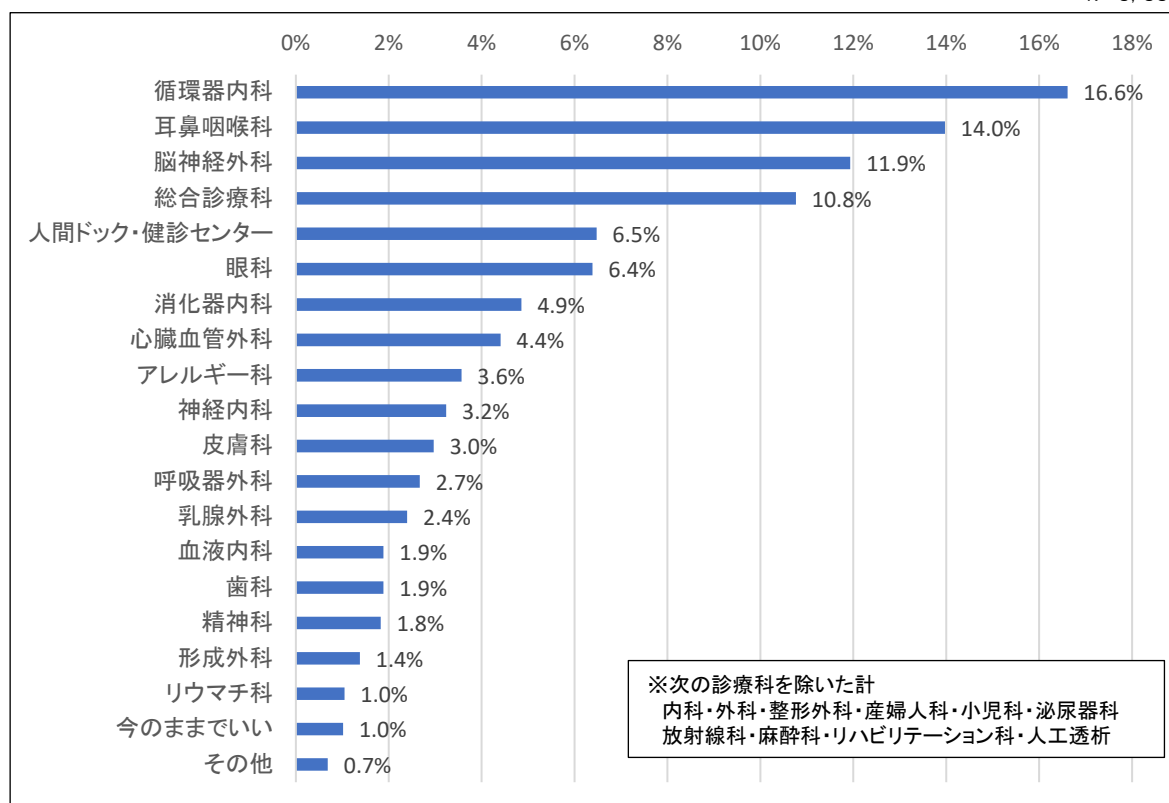
N=3,475



新病院に求める医療サービスとしては、「24時間対応の2次救急医療」が最も多く、次いで、「高度な技術や専門性を必要とする専門医療」となっており、急病や心疾患、脳疾患時の対応を求められていることが推測されます。また「長期治療に対応した療養型医療」、「小児医療や小児救急」、「終末期にある患者の緩和ケア」、「在宅医療」、「周産期医療」など市内完結型の医療サービスが望まれていることが見受けられます。

(3) 新病院ではどのような診療科を期待するか(3つまで選択可)

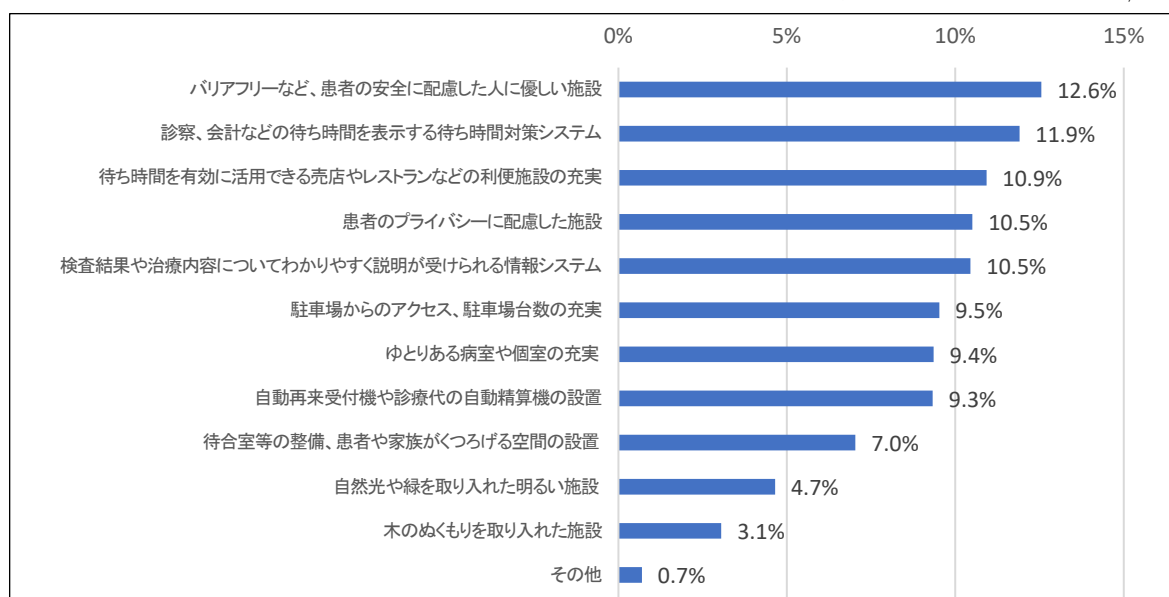
N=3, 335



新病院で期待する診療科としては、「循環器内科」が最も多く、次いで、「耳鼻咽喉科」、「脳神経外科」、「総合診療科」となっており、心疾患や脳疾患時の対応、市内に不足している診療分野、どの診療科を受診すればよいか分からない場合の総合診療科への期待が見受けられます。

(4) 新病院ではどのような施設・設備を期待するか(3つまで選択可)

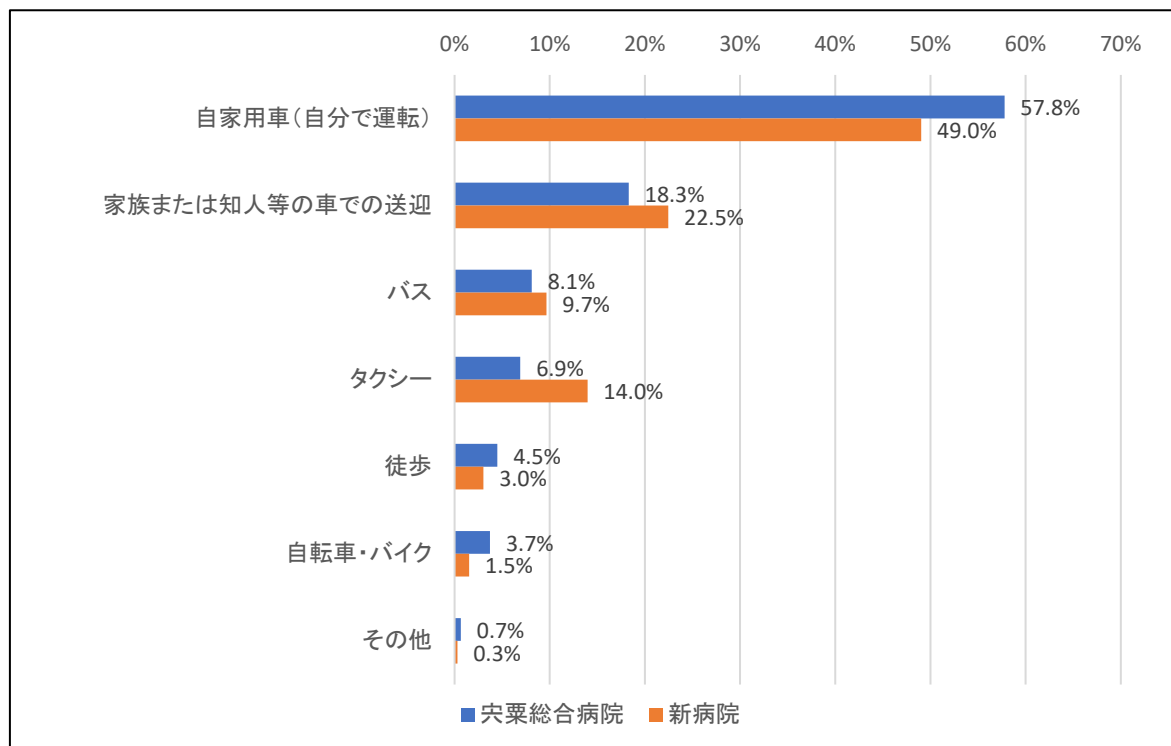
N=3, 569



新病院で期待する施設・設備としては、バリアフリーやプライバシー配慮、駐車場からのアクセスや駐車場の広さ、個室の充実などハード面に対する期待と待ち時間対策や自動受付、自動精算など受付から受診、会計までがスムーズに行えるシステムなど効率的な受診に関する期待が高いことが確認できます。

(5)新病院を利用する場合の交通手段

N=1,946

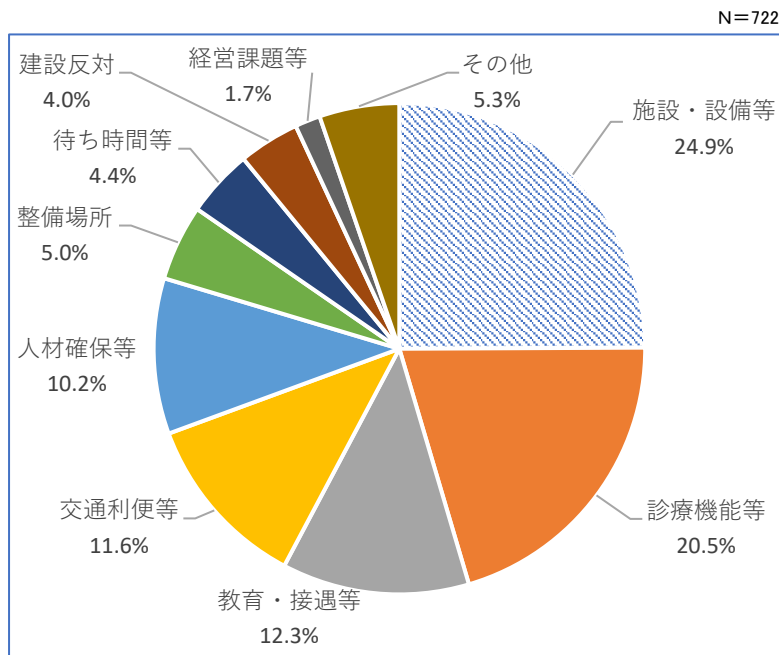


新病院を利用する場合の交通手段は、「自家用車(自分で運転)」が圧倒的に多く、「家族または知人等の車での送迎」を合わせると約71%を占めており、自動車の利用率が特に高いことが確認できます。また現在の交通手段の割合と新病院の割合を比較すると、自分で運転できなくなる方が増え、家族等の送迎やバス・タクシーを利用される方増えることが確認できます。

問6 その他自由意見等

回答者1,252人のうち、444人から自由記入欄に記載がありました。意見の内容を性質別に分類した結果は次のとおりです。

分 類	
施設・設備等	180
診療機能等	148
教育・接遇等	89
交通利便等	84
人材確保等	74
整備場所	36
待ち時間等	32
建設反対	29
経営課題等	12
その他	38
合 計	722



分類別自由意見の詳細

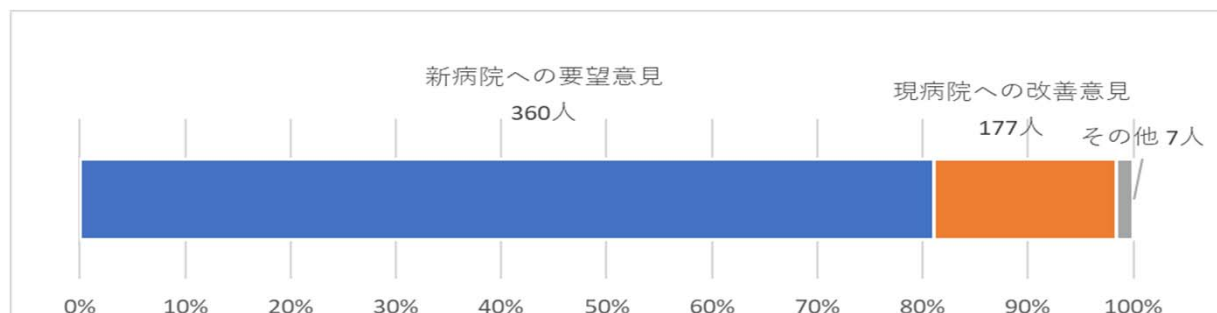
NO.	分類	件数	意見	件数
1	施設・設備等	180	新病院建設に期待する意見	45
			駐車場に対する意見	24
			利便施設(売店、ATM、薬局等)に対する意見	14
			周辺道路に対する要望	11
			最新機器導入要望	11
			受付、会計処理の機械化要望	10
			案内板、動線に対する意見	10
			簡素な病院建設に対する意見	9
			介護施設等の併設要望	7
			ヘリポート設置要望	6
			交流施設(公園、図書館等)の併設要望	5
			緑や木を使った空間創出に関する意見	5
			災害対応に対する意見	4
			トイレ・洗面所の改善要望	4
			病室に対する要望	4
			健診センター・ジム・プール設置要望	4
			待合に対する改善要望	3
			プライバシー確保への意見	2

N0.	分類	件数	意見		件数
			こども園設置要望		1
			病院食に対する意見		1
2	診療機能等	148	すべての患者を診る機能の整備		34
			診療時間の拡大		33
			救急医療体制の充実		26
			かかりつけ医・高度医療機関との連携強化		12
			心疾患・脳疾患等の高度医療の提供		9
			予防医療の実施		8
			小児科・周産期医療の充実		7
			医療相談窓口の設置		6
			緩和ケア病棟の新設		4
			プライバシーに配慮した診療体制の確保		4
			長期療養機能の整備		2
			診療科の新設		1
			へき地医療の充実		1
			2次救急からの撤退		1
3	教育・接遇等	89	医師・医療スタッフ	要望	43
				対応が悪い	32
				対応が良い	5
			技能向上のための教育・研修の充実		9
4	交通利便等	84	交通手段の確保・充実		84
5	人材確保等	74	医師・医療スタッフの充実		74
6	整備場所	36	中心部への移転を希望		28
			購入経緯の説明不足		4
			現地建て替えを希望		2
			予定地が適地なのか疑問		2
7	待ち時間等	32	待ち時間が長い		32
8	建設反対	29	そもそも必要なのか（説明不足）		8
			新病院建設反対（税金の無駄遣い等）		8
			今のままでよい		5
			今と同じ体制なら移転反対		3
			赤字経営ありきでの建設反対		2
			病院建設よりも優先すべきことがある		2
			移転は反対（現地なら賛成）		1

NO.	分類	件数	意見	件数
9	経営課題等	12	健全経営の確保	8
			次世代へ負担を残さない	3
			税の有効活用	1
10	その他	38	周辺施設の誘致を進め、観光・地域づくり拠点として活用	5
			市の財政が不安	5
			新しい名称を希望	3
			現病院建物・跡地の有効活用	3
			市内の医療・福祉の充実	3
			健康保険料や市民税、水道料金を安くしてほしい	3
			若者の働く場が増えることを期待	2
			将来はお世話になるかもしれない	2
			街中が寂れないか心配	1
			予防医学に対する市役所の取り組み	1
			市民サービスの低下が心配	1
			診療代を安くしてほしい	1
			旧病院と新病院への税金が二重払いにならないか心配	1
			医師の報酬公開	1
			看護学校を作してほしい	1
			都市間アクセスが悪いので医師が来ないのか	1
			建設予定地を大手企業に貸し出してはどうか	1
			アンケートは活用されるのか	1
			市民意見を聞くべき	1
			特にない	1
合計		722		

回答者の主な意見の分類は次のとおりです。

N=444



◆各分類ごとの代表的な意見

1 施設・設備等について

40代 女性 山崎町

駐車場を広くして、より多くの車が駐車できるようにしてほしい。新病院には期待している

60代 女性 山崎町

宍粟市の病院なので木のぬくもりのある病院作り、市外の病院に行かなくても出産から終末期まで一生安心してお世話になれる新病院を希望、市民アンケートが活かされますように

70代 男性 山崎町

コンビニの併設、銀行ATM、喫茶店、食事処、宍粟市の特売品の販売などあればよい、他の地域からも利用していただける複合病院、観光の拠点

30代 女性 山崎町

西播磨の中心となる他の地域の方が来たいと思うような病院、自動受付機、精算機など時代に見合った最新機器の採用、待ち時間を有効に活用できるような施設

30代 男性 山崎町

新病院賛成、緊急時にも素早く対応してもらいたい

60代 女性 波賀町

特にない、新しい病院が出来るのを楽しみにしている、頑張ってください。

2 診療機能等について

40代 男性 山崎町

宍粟市全域がカバーできる中核医療施設であってほしい、交通の利便性、総合医療の充実、出産から子育てしやすいよう、産婦人科小児科などの充実

60代 女性 山崎町

宍粟市新病院はこれまでの病院と違い、夜間や休日に関係なく救急対応ができるようにしてほしい。大学病院など高度医療機関との連携がある病院になってほしい。特定疾病に対して専門性を持った診療を行う病院であってほしい。人間ドックやがん検診の機能がある病院に。総合診療科のある病院に。診療所やクリニック、また他院と連携する地域の中心的な病院になってもらいたい

40代 男性 山崎町

宍粟市には入院できる医療機関が少なく公立病院が担う必要がある。特に高齢者の療養を目的とした介護医療院や小児病棟を充実させないと長期的に安心して暮らせる街ではない状況になってきている。姫路に入院となると支えての負担が大きくなる。私は大阪から移住してきたが車で20分の圏域に入院施設が公立病院とウスキ病院しかないことに不便を強く感じている。新病院には高度な医療ではなく2次救急や療養を充実させることが広く有益と思う。この過疎地に必要なのは先進医療施設ではなく療養の受け皿だと安心できるものと思う

50代 男性 山崎町

予防も含めた病気などの対処やアドバイスや相談が受けられる窓口があれば良いと思う

40代 女性 山崎町

外来診療時間の拡大

3 教育・接遇等について

60代 女性 山崎町

宍粟市だけではなく、全国的な傾向ですが、過疎・少子化が進む中、折角大きな病院ができるなら、縦・横の関係がスムーズに行って、田舎特有を活かして、都会のようなギスギスした大病院にはならないような関係を保てる病院になる事を願います

20代 女性 山崎町

新病院は「またここに来よう」と思えるような温かい優しい病院であってほしいと思う

60代 女性 一宮町

今まで総合病院で2回手術をしたが入院中は看護師が一番の頼みの綱だった。患者の声に耳を傾けきちんと説明してもらったので、納得した入院生活だった。施設(設備)は勿論大切だが、一番大切なのは医師や看護師などのスタッフだと思う

4 交通利便等について

70代 女性 山崎町

新病院利用の交通手段ですが、核家族が増えているので、広範囲から利用しやすいシャトルバスまたは定額料金バスの設置をしてほしい。(せめて1時間に3本)

60代 女性 千種

新病院への道を広くしてほしい。自分で運転できなくなったときの交通手段が心配

40代 女性 山崎

マイカーを持たない高齢者などの為にバス等の交通手段の整備をしてほしい

5 人材確保等について

60代 女性 波賀町

命を預ける病院とは良い医師・スタッフがいる病院で、次はその病院における設備・環境だと思う、他市町や他府県から来院されるような病院になってほしい、宍粟に良い医師が来ないのは都市間のアクセスが悪いからと耳にするが実際はどうか

70代 女性 一宮町

誠意のある好意的な職員が勤務する病院を建設してほしい、優秀な医師看護師の配置、市民の意見が受け入れられるように説明会をするべき

40代 女性 山崎町

常勤の医師確保で診療日の拡大、広い新病院の敷地に市営プールを併設するのはどうか？

6 整備場所について

30代 女性 一宮町

遠くなるので今のところで考えてほしい、送迎バスを作してほしい

30代 女性 山崎町

駐車場入り口を一カ所にせず分散する対策、下比地→香山付近は冠水する このような場所に立てるのは正解か

60代 女性 山崎町

新病院が市内の一番外れの方に移転だと、運転できない人・高齢化している現在、もう少し考えてほしかった。タクシーだと負担が大きい

75歳以上 男性 一宮町

一宮から現在の病院まで行くのにも遠いのに、新病院はさらに遠くになので大変になる。もっと中心の神野あたりで建ててほしい。南へ行くほど一宮・波賀の住人は遠くなり、なぜなのかと思う。宍粟市民病院なら中心に立てるべきではないのか？移転予定地に何のメリットがあるのか？ぜひ教えてほしい。デメリットしか思えない。交通の便が悪すぎる

7 待ち時間等について

60代 女性 波賀町

受診までや、会計時の待ち時間が緩和するよう努力してほしい。

30代 女性 山崎町

患者の我々にとって診療を終えてから支払いまでの待ち時間が非常に長く、苦痛でしかない。もっと早く処理できないのか？新病院では出来る限り早い処理と時間の無駄をなくしてスムーズな対応にしてもらいたい。

70代 男性 山崎町

総合病院は待機時間が長い。個人病院は効率が良いところがほとんど。待機時間減らせるように特に検討してもらいたい。

8 建設反対について

70代 女性 山崎町

今の病院のままでいい

40代 男性 山崎町

移転に関して、市民の意見をしっかりと聞いてほしい。移転は白紙撤回にしてほしい

60代 男性 山崎町

移転反対、現在地での建て替えなら賛成、市の財政に見合った医療機関で十分、将来の人口動態を考えると今回の計画は無謀、今からでも引き返せないですか？

40代 女性 波賀町

絶対反対！！リニューアルではだめなのか？、税金の使い道を考えて、町のイメージは出来ているか？地域格差を生む、市の南に立てるのが反対

60代 男性 千種町

赤字ありきの移転新築は認めない。民間委託等、抜本的な経営改革も考えて。人口が減るのに、拡大する必要はない。ミニマム・コンパクトな病院で。土地は購入も、移転・中止も視野に入れてほしい。減築で良い。今の場所で十分

50代 男性 一宮町

新病建設反対！現状医師が不足して病院自体空き箱状態、赤字経営で市民に負担がかかるのが目に見えてる

75歳以上 女性 山崎町

新病院は必要？現在の総合病院でいいと思う、新病院建設に関する説明が少ない、無作為のアンケートに94歳の施設に入っている人に送るのは疑問(代筆)

9 経営課題等について

75歳以上 男性 一宮町

新しい病院を作るに必要な財政はどうするのか？高度な医師を確保するしたらどうなのか？新しい病院建設に住民負担はないのか？今の市民病院は黒字経営なのか？新病院でも黒字経営できることを確認した上で進めているのか？新し病院建設地を大手企業に貸し出してはどうなのか？

60代 男性 一宮町

病院運営において市民への負担をさせないようにしてほしい、整備においてアンケート結果を十分に活用してほしい

75歳以上 男性 山崎町

赤字決算になるような病院建設はしないでほしい。患者に信頼される医師を多く確保できないのか？栄栗市外からも多くの患者が来るような病院にしてほしい

10 その他について

75歳以上 男性 一宮町

新しい名称希望、最期を迎えられる病院、信頼される病院(医師看護師の人間性をしっかり)、倉敷中央病院のような患者と家族に寄り添った安心できる信頼できる病院になってほしい

60代 女性 一宮町

医院・学校・スーパーなど無くなり若者が生活しやすい市・町でなくなった、空き家が多く話す相手もいなくなる、これからの子供たちの為に頑張ってほしい

20代 男性 波賀町

こども園や役場などを建てたりして今後の宍粟市の財政が不安、もっと別に使った方が良いのでは？

50代 男性 山崎町

他の病院より診察代を安く設定してほしい

40代 男性 山崎町

病院の周辺施設の誘致も進めるべき、来ていただける先生もこの地にいたいと思うような地域づくり、長期的な発展を考えるべき

50代 男性 山崎町

宍粟市内の医療機関を充実させてください。県内市外の医療機関を利用せず、宍粟市内の医療機関を充実させ、便利良くしてください

60代 男性 山崎町

交通手段の充実(バスの運航便数等)・駐車場から病院までの通路整備(雨の日や車椅子でも困らないように)・現在の病院の跡地の建物の有効活用(介護施設等に改修するなど)